

『未来の子供達に、お米・野菜・果物大好きになっ  
てね!』



**日本の伝統文化の継承 親子・家族・単身・国際親善ふれあい交流 餅つき大会  
及び自主防災炊き出し訓練開催。**

主催：門前自治会行事実行委員会一同  
(実行委員長：島元晟光)

参加者（前半参加者）の記念写真  
(前半10時半40名+後半正午90名)  
合計130名



平成22年12月19(日)、野島農園（東久留米市大門町

1-3-19 経営主 野島貞夫：門前自治会会長）にて、門前自治会主催餅つき大会が実施されました。

地域の子供達及び家族等が約130名参加致しました。前日に実行委員等が集まり、臼、杵を亀の子タワシで洗い、水に浸し、水で絞めて、割れ防止対策を施し、又モチ米をとぎ、水に浸し、味噌汁の具の大根のカット等を行いました。当日、窯に薪をくべて、セイロで餅米を蒸かして（約40分）、もち米を、臼に入れて、小型の杵で、もち米を周りから、押しながら、形を作り、その後、大型の杵でつき始めました。均等に、杵が当たるように、もちを返し、リズムカルにつき始めました。その後、大方餅がつきあがると、子供達に順番に杵でお餅をついてもらいました。又、地域にお住まいの外国の方（ギリシャ、ドイツ、ベトナム等）も多く参加し、国際親善交流を図ることができました。

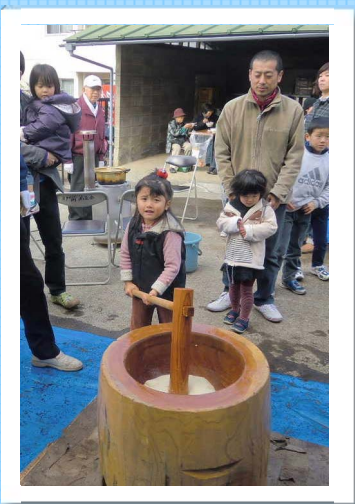


つきあがったお餅をお母様達に、きな粉餅、あんころ餅、からみ餅等に、お母さん達が、愛情ある、味付けをして頂きました。できたお餅を多くの参加者が『おいしい…美味しい』と食べて下さり、又、農園で収穫された野菜等を具にした、味噌汁（具：大根・油揚げ等）を飲みながら、参加者の会話が弾み、楽しみながら、地域住民の懇親と交流を図ることができました。

又、餅つきの合間に、子供達に輪投げの遊びを楽しんでももらいました。尚、門前自治会として、今年いろいろ行事を実施致しましたが、行事終了後、参加者の希望者の方に、地元で収穫された、朝穫り旬の野菜等をおみあげにさせて頂きました。



『お野菜・果物大好きになっ  
てね!・・・運動推進中』。餅つき大会に関して、門前自治会として、初めての行事でしたので、定員80名を募集するために、広報活動として◆自治会会員の全世帯へご案内のチラシを配布◆第2小学校、大門中学校の生徒さん達にご案内ポスター及びチラシ配布。◆市内の公的な場所にポスター、チラシ等を掲示◆市の情報サイト「くるくる」に登録し、周辺地域の市民へ24時間ネットで情報発信◆立て看板にてご案内。◆東京学芸大会国際学生宿舍、氷川寮へチラシ配布等の努力した結果、目標とした募集定員を超えることが出来ました。



**又、今回の目的は、自主防災の炊き出し訓練を兼ねて実施致しました。**

当日、市より配給された自主防災資料《知っておきたい防災対策、高齢者の防災読本(家族や地域と協力して、いざという時に備えましょう)》を配給し、又、「年末に向かって火災等の火の元を自主的に注意を徹底して下さいと要望致しました」。

最後に、参加した子供達に感想を聞いたところ、「自ら杵と臼で餅をついて、楽しかったです」という声が多くありました。

又、来年度もやって欲しいという希望もありました。今回の行事を行うのに、多くの方の協力を頂きました。



特にJA東京みらい駅前支店（臼・杵無料貸出、応援2名）、MOA（自然農法文化事業団）の方々（東久留米代表横山惣一氏：炊事）、実行委員長：島元晟光氏、幹事：野島たけお氏、小林宏氏・永井信之氏・池田恭則氏・正岡武幸氏・内藤徹氏（餅つき指導）、自治会役員一同、参加者のお母様方の協力により、本行事を実行することができましたことを感謝致します。又、希望者（限定約20名）に、地元の生産者（自治会会員）より、購入した、野菜を支給致しました。



今回の餅つき大会は、未来の子供達に、古き良き日本の伝統文化を継承して頂きたいために、遊びを交えて、楽しみながら、多くの仲間と共に、自ら杵と臼で餅をつき、餅つきの工程を体験して頂きました。今後とも、子供達を、学校・家庭・地域で育成。体験行事をとうして、全人教育的な機会の推進をしていきたいと思っています。又、地域内の東京学芸大学海外留学生代表者との親善交流会を実施。尚、本行事は、日本農業新聞平成22年12月29日（水）に、掲載されて、多くの市民に読まれたと思います。

右：門前自治会会長 野島貞夫  
(JA東京みらい農協理事地域振興委員担当) 『地域の未来の子供達に・・・お野菜・お米・果物大好きになっ  
てね!各種行事でPR推進中!』